



令和6年度地域発元気づくり支援金 【南信州地域】37事業を採択事業として選定しました

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、選定会議構成員の意見を参考に、採択事業を選定しました。

(単位:千円)

事業区分別

事業区分	内定状況	
	件数	支援額
1 地域協働の推進	3	7,892
2 保健、医療、福祉の充実	2	1,553
3 教育、文化の振興	9	18,776
4 安全・安心な地域づくり	0	0
5 環境保全・景観形成	3	6,305
6 産業振興、雇用拡大 (小計)	13	34,880
ア 特色ある観光地づくり	5	14,641
イ 農業の振興と農山村づくり	3	8,504
ウ 森林づくりと林業の振興	3	2,216
エ 商業の振興	1	4,519
オ その他	1	5,000
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	7	10,763
合計	37	80,169

重点的に推進するテーマ別※

重点テーマ区分		件数	支援額
県	女性・若者に選ばれる県づくり	1	761
	2050ゼロカーボンに向けた取組の推進	2	4,494
南信州地域	移住・定住、つながり人口づくりの促進	6	14,158
	伝統文化の継承	5	14,831
	地域の特色ある産業の振興	4	11,256
	地域の強みを活かした観光の推進	8	20,911
	森林資源の利活用の推進	2	1,651
合計		28	68,062

申請者区分別

申請者区分	件数	支援額
市町村	10	20,735
広域連合・一部事務組合	1	2,072
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	26	57,362
合計	37	80,169

- 当地域では、42件の申請(要望額9,298万7千円)がありました。
- 選定した事業については、より効果的に実施していただけるよう適切な助言をまいります。
- 南信州地域配分額8,732万円に対し、715万円の残額が生じたため、2次募集を実施します。詳細は別途お知らせします。



2050ゼロカーボンを目指す長野県のシンボルマークです

(問合せ先)

南信州地域振興局 リニア活用・企画振興課
(課長)保科 (担当)後藤、勝股

電話 0265-53-0401(直通)
0265-23-1111(代表)内線2315

FAX 0265-53-0404

E-mail minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

令和6年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表（1次募集）

単位：千円

番号	事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金内定額	重点テーマ区分
1	1 地域協働の推進に関する事業	ソフト・ハード	龍江四区地域づくり委員会	「ホタルの里」の環境保全とホタル祭りの開催で中山間地の活性化	以前より地区が主体となって開催していた「ホタル祭り」であるが、コロナ禍で一旦休止となり、昨年再開したところ、従前をはるかに超える来訪者があった。今後は地区内だけでなく、外部からの受け入れを可能とし、次世代と一緒に担う新たな「ホタル祭り」の体制づくりを行う。あわせて「ホタルの里」の環境整備を行い、安全にホタル観賞ができる地域づくりを行う。 ①ホタル祭りに係る備品（鉄板、コード、LED、横断幕、簡易トイレレンタル等）、ホタルの里環境整備にかかる備品（安全資材、草刈り刃等） ②ホタル祭りに係る備品（備品収納倉庫、発電機）	1,893	1,164	1,164	地域の強みを活かした観光の推進
2	1 地域協働の推進に関する事業	ソフト	うるぎ豆まめ舎実行委員会	まめで元気なうるぎむら～山の神と人の暮らしの魅力再掘～	移住者が4割近い売木村では、祭り等の交流場面に参加する人が減少しており、維持が難しい状況にある。その中で、祭りを盛り上げるための物語や曲を作り、プロと一緒に村民が参加するイメージ映像を制作することで、村の行事を自分事として認識してもらうきっかけとする。また、映像を配信することで、さらなる移住者や交流人口の増加を目指す。また、大豆の育成から豆腐作り、油揚げ作り、それを村の「農耕の祭り」にちなんで奉納するという一連のイベントを体験することで、農耕と祭り行事を身近に感じられるようにする。 ①原作物語制作費、イメージビデオ作曲・構成・指導費、レコーディング費、プロ出演料、編集費、衣装レンタル費、豆腐作り講師費等	3,993	3,194	3,194	移住・定住、つながり人口づくりの促進
3	1 地域協働の推進に関する事業	ソフト	喬木村	喬木村発足150周年記念事業	令和6年度に喬木村発足150周年を迎えることから、令和5年度から開催しているたかぎ祭りとあわせて、150周年記念事業を展開する。節目を祝う事業を行うことで、村民に村の歴史を認識する機会としてもらい、村の魅力の再発見・確認をしていただく。開催にあたっては広く一般公募した住民が参加する実行委員会が主体となって取り組む。イベントでは、小学生が提案した事業や実行委員会が企画した事業を展開し、村全体で作り上げていく。 ①式典出演者謝礼、式典用備品借用料、講演会講師謝礼、デジタルスタンプラリー設置費用、歴史展パネル制作費、今昔続編印刷製本費等	4,712	3,534	3,534	
4	2 保健、医療、福祉の充実に関する事業	ソフト	飯田市座光寺地域自治会	地域づくりと健康づくりに向けたマレットゴルフ場の活用事業	座光寺マレットゴルフ場は年間を通じて多くの人に利用されており、大雨による浸水被害を受けた際にはマレットゴルフ愛好会と地域のボランティアが再開できるまでに整備をする等、地域が主体となって維持管理をしてきた施設である。しかしながら、近年は利用者が減少傾向にあり、高齢化もすすんできている。そこで、座光寺マレットゴルフ場において幅広い年代にマレットゴルフに親しんでもらうための体験会を実施。用具の貸し出しを行えるようにすることで、初めての方が気軽に利用できる施設にする。マレットゴルフを通じて健康づくりや交流する住民を増やすことで、地域のコミュニティ意識を醸成する。 ①スティック、ボール、ベンチ	558	418	418	
5	2 保健、医療、福祉の充実に関する事業	ソフト	まつかわ森林セラピーの会	自分の身体に合わせたスポーツ体験会	令和5年度事業から引き続き、およりの森周辺施設におけるスポーツ体験を通じた健康づくりを実施する。令和5年度は年配の方やリピーターの利用者が多かったことから、若い世代の利用者や新規利用者の獲得を目指す。中高生のボランティア部に事業の周知や運営に関わってもらう、SNSを活用することで、若い世代へのアプローチを図る。また、親子向けや若い世代向けの体験メニューを取り入れ、参加しやすくする。 ①医師・看護師・運動指導士謝礼、スポーツ体験会講師謝礼、エアリアルヨガハンモック、チラシ、施設使用料、Eバイク使用料等	1,514	1,211	1,135	
6	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト	南信州民俗芸能継承推進協議会	担い手の誇りを育み、つながりの拡大による持続可能な南信州民俗芸能継承推進事業	今までの活動を通じてできた地域や企業、人との繋がりを活かして、地域外での担い手による上演の機会を創出する。さらに上演の機会を増やすため、地域や学校、民俗芸能パートナー企業等から上演の依頼があった際に仲介できる体制の整備と広報を行い、担い手の誇りを育む場を増やす。また、民俗芸能パートナー企業と連携した「ゆるキャラ」制作や地域外団体との交流等、さらなる繋がりの拡大を目指す。 ①出演団体謝金、チラシ、メディア掲載料、広報動画制作費、講師・アドバイザー謝金、カレンダー制作費等	3,800	3,040	3,040	伝統文化の継承
7	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト	小京都飯田伝統文化育成会	伝統文化の舞踊と三味線による小京都飯田での「獅子をどり」「子ども獅子をどり」の創作と発表	継続2年目となる令和6年度は引き続き、古典舞踊・邦楽の担い手の募集と育成を行い、地域でのすそ野の拡大をはかる。また、「南信州獅子舞フェス」の開催日に合わせ、新たに創作した「獅子をどり」「子ども獅子をどり」の発表を行う。さらに、気軽に文化に触れていただく機会として、普段の練習の様子の公開や、学校や企業のイベント等での発表を行い、広く地域へPRしていく。 ①会場借用料、講師謝礼、屏風、獅子頭、小鼓、広告料、記録番組制作費、着物、消耗品費等	4,868	3,894	3,894	伝統文化の継承

令和6年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表（1次募集）

単位：千円

番号	事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金内定額	重点テーマ区分
8	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト・ハード	南信州有志保育士連合傾奇組	親子で笑TIME！～子育ての喜びと学びの二刀流～	南信州地域でも核家族化や共働き世帯の増加により、親子が向き合う機会が減少している。また、保育現場の魅力を感じづらくなっていること等から慢性的な保育士不足が課題となっている。これらの問題を解決するため、以下の講座・イベントを開催する。開催にあたっては地域の保育士養成校と連携し、ボランティアスタッフとして関わってもらうことで、将来のビジョンを持ってもらい、保育の魅力を感じてもらう。 ・申請団体が講師となり、乳幼児への体操指導の方法や一つの動きから得られる運動効果について学ぶ、保育士向け体操講座 ・第10代「たいそうのおにいさん」である佐藤弘道氏らを招いて行うファミリーコンサートイベント ・上記イベントを通じて得た知識をもとに実践を行う親子体操 ①講師謝礼、音響借用料、施設借用料、音響機材、印刷・広報費用	1,001	761	761	女性・若者に選ばれる県づくり
9	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト	久米大歌舞伎再生有志の会	地元地域の物語をテーマにした伝統芸能「歌舞伎」の再生	久米地域で盛んに行われていた芸能文化は地域の人口減少により、縮小・中止を余儀なくされており、交流の場が減少している。地域の活気を取り戻すため、かつて行われていた「久米大歌舞伎」を地域協働により再生させる。歌舞伎に必要な衣装の制作や舞台稽古を通じて、住民同士の交流をはかる。また、久米地区に伝わる伝説をもとにした台本を制作することで、久米地区の歴史を後世に残すことができる。 ①台本制作費、演出脚本費、衣装生地代、稽古講師代、舞台大道具(幕)費用等	2,618	2,094	2,094	伝統文化の継承
10	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト	松川町	教育版マイクラフトを活用した公園遊具アイデア構築事業	町内の台城公園の遊具すべてが「異常があり修繕または対策が必要」と判断されているため、今後遊具の更新を行う予定である。そこで、遊具の更新にあたって、町内の小中学生とともに『教育版マイクラフト』（ゲームソフト）を活用して、デザインを作り上げていく企画を行う。まずは参加者に対し、地域案内人より、公園の史跡としての歴史を説明いただく。その後、マイクラフトの世界で「こんな公園を利用したい」「こんな遊具で遊びたい」と考えるものを自由に制作してもらい、アイデアを町文化祭で展示、投票等により選定していく。企画運営にあたっては、町出身の大学生等がサポートを行う。 ①企画運営費（運営費、旅費、エディション変更、3D模型制作費）、運営サポート費（フィールドワークサポート費、PC操作サポート費）、印刷代	4,000	3,200	3,000	
11	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト	高森町	『高森町の奉納額』を通してふるさとのよさを再認識する事業	町民の代表者による調査委員会が中心となり、町内にある奉納額の調査活動を行ってきた。先人の願いや祈りなど各時代の民衆の内面を知ることができる貴重な文化遺産である奉納額であるが、時代の経過とともに劣化が進み、内容が読み取りづらくなっている。そこで、これらの内容を記録し冊子にまとめることで、後世に伝えていく。また、公共施設や学校等に配架することで、子どもたちの学習にも活用してもらう。あわせて、町内特別展での展示、「奉納額巡りツアー（仮）」を開催し、ふるさとを大切にすることを育むきっかけとする。 ①冊子制作費（150部）	770	616	577	
12	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト・ハード	木賊狂言保存会	地元の物語をテーマとした新作狂言制作	著名人によって制作された、阿智村や南信州を舞台する狂言があるが、いずれも一定以上の経験や技術がないと演じられないものであり、子どもたちをはじめとする、狂言を体験してみたい住民が気軽に体験することが難しい内容となっている。今後、阿智村の文化資産のひとつである地元狂言を継承していくため、今まで体験したことがない人であっても気軽に参加できるような演目を新たに制作し、実際に参加してみることで狂言の魅力を感じてもらい、継承していこうという心情を醸成していく。参加者は地域へ広く募集をかけ、狂言を体験してみたい人がまずはワークショップで気軽に体験できるようにする。その後、実際に舞台に立つ人を選定し、住民が演じる狂言として地域のイベント等で発表を行う。また、舞台に使う小道具等の一部を住民協働により作り上げることで、地域の交流の場とする。 ①台本制作費、舞台演出費、稽古費、衣装監修費、小道具制作費 ②衣装制作費	4,213	3,320	3,320	伝統文化の継承
13	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト	下條村	コスモホール竣工20周年記念公演事業	村の文化活動の中心となっているコスモホールが竣工から20周年を迎えるにあたり、ますます愛され、文化活動の場となるきっかけのイベントとして、著名な劇団によるオペレッタの上演を企画する。イベントの運営にあたっては実行員会を組織し、村内住民や成人式実行委員会の若い世代にも参画してもらうことで、幅広い層へアピールできるものにしていく。オペレッタの出演者には地域の人々と交流しながらオペラのことを学ぶワークショップを行っていただき、普段なかなか触れることのできない芸術を楽しむ機会としていただく。 ①上演料、ワークショップ費用	1,882	1,505	1,411	

令和6年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表（1次募集）

単位：千円

番号	事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金内定額	重点テーマ区分
14	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト	NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター	関係人口の創出に資する教育を軸とした地域作りノウハウ提供事業	当団体は僻地山村に内在する暮らしを教育材料とすることで、社会課題を解決する人材育成及び、その後の関係人口化に寄与する活動を行う団体として徐々に注目を集めだしている。このような団体の活動を入り口とし、泰阜村全体を同様の課題を抱える山村地域のモデル地域として視察の場としていくためのPRを行う。団体の活動を中心に村との関わりや成果を伝えるパンフレットを作成し、配布。実際に視察に訪れていただいた方（団体）には当団体の取組やその他団体・個人の取組、教材となっているフィールドをツアーのように見ていただく。それにより、村内の活動の自信や外部評価を得ることにもつながり、関係人口の創出も期待できる。また、団体が実施する地域の特性を活かしたキャンプは海外からの問い合わせもあるため、英語版のパンフレットを作成し、海外からの視察にも対応していく。 ①パンフレット作成費用（デザイン費、印刷、発送、英訳）	905	724	679	
15	5 環境保全、景観形成に関する事業	ソフト	南信州環境メッセ2023実行委員会	2050ゼロカーボン普及啓発事業	長野県ゼロカーボン戦略に掲げた2030年度の温室効果ガス排出削減目標に対し、現状ペースでは達成が困難であることから、県では目標達成のためのロードマップを策定している。地域住民、事業者が一丸となってどう取り組んでいけばよいか、具体的に周知していく必要があることから、南信州環境メッセ2024を開催し啓発を行う。令和6年度は新たに管内地域企業が持つ環境に配慮した商品の展示及び商談会を取り入れ、企業に多く参加していただくことで、地域内経済循環にも結び付ける。 ①メッセ開催経費（企画調整、出展募集・受付、広報・集客、会場設営、運営等）、展示用パネル使用料	7,028	4,055	4,055	2050ゼロカーボンに向けた取組の推進
16	5 環境保全、景観形成に関する事業	ソフト	一般社団法人 恩返し I I L A	楽しみながら環境について考える、地域イベント参加型企画の内容と広報の強化	地球温暖化やプラスチックゴミなどの問題を解決するために、自然エネルギーによって生まれた電力の使用や使い捨てプラスチックからの転換、環境に配慮した商品やサービスを積極的に使用していくエシカル消費が重要である。そこで、各種イベントを通じて、環境問題の情報発信やエシカル消費の意識啓発を図っていく。今年度はイベントへの出展（エアロバイク発電体験）だけでなく、積極的な広報活動を行い、学校や企業、地域などから依頼を受けて出展し、活動の幅を広げていく。 ①広告料、蓄電池、かき氷機、ソーラーパネル、のぼり旗等	558	439	439	2050ゼロカーボンに向けた取組の推進
17	5 環境保全、景観形成に関する事業	ソフト	売木村	アテビ平小鳥の森環境・生物多様性保全事業	国定公園であるアテビ平小鳥の森は二次原生林で多様な動植物を育んでいるが、近年は看板・案内板の老朽化やごみの投棄等で景観が悪化している。そこで原生林としての環境保全だけでなく、景勝地としての魅力も高め、その魅力の発信・再発見のための取組が必要である。令和5年度には看板を新たに設置し、進入禁止の場所をわかりやすくするとともに、マナー徹底の啓発を行い、森を利用した森林ガイドウォークの企画を行った。継続2年目となる令和6年度にはガイドウォークの継続と新たに巣箱の設置及びバードウォッチングの企画を行う。また、来園者の安全確保のため、精巧な地図兼パンフレットを作成し、企画に役立てる。 ①チラシ・ポスター印刷費、地図測量、探鳥会講師謝礼、双眼鏡、パンフレット印刷費、巣箱	2,263	1,811	1,811	地域の強みを活かした観光の推進
18	6 産業振興、雇用拡大に関する事業（ア 特色ある観光地づくり）	ソフト	伊那路・木曾路広域観光連携会議	伊那路・木曾路の広域での市民協業による持続可能な観光コンテンツの開発およびプロモーション	住民協働の観光を共通の強みとする、南信州を含む上伊那・木曾の三地域で連携し、インバウンドの造成や観光プロモーションを行っており、サステイナブルツーリズム等、最新の観光トレンドについても、共同で勉強会を行っている。その中で、サステイナブルツーリズムの考え方においては、観光地づくりへの住民の主体的な参画が重要な要素となっている。加えて、未だ伊那路の知名度が低い一方で、木曾路は一部オーバーツーリズムの様相を見せているという不均衡な状況にある。これらの課題解決のため、サステイナブルツーリズム実現に向けた住民の主体的な参画を促し、情報インフラ整備やブランディング、プロモーション、受け入れ体制の構築をすすめていく必要がある。住民協働によるインバウンド向けサステイナブルツーリズムコンテンツの開発を行い、世界最大級の観光見本市での三地域統一ブランドによるプロモーション及び商談を行い、認知度の向上を図る。また、住民協働により開発したサステイナブルツーリズムコンテンツやこれまで造成してきた三地域の観光コンテンツに関する問い合わせ窓口となるプラットフォーム（ウェブサイト）を構築する。 プラットフォーム構築費用、コンテンツ開発コンサル費、ブース出展料、セールス協力費、参加住民交通費・宿泊費、ノベルティ制作費、横断幕制作費等	5,652	4,521	4,521	地域の強みを活かした観光の推進
19	6 産業振興、雇用拡大に関する事業（ア 特色ある観光地づくり）	ソフト・ハード	源氏物語常木プロジェクト	源氏物語常木プロジェクト	源氏物語に登場する「常木」が園原地区にあること、それに関する歴史遺産が多数あることを地域住民に再認識してもらい、2024年NHK大河ドラマ「光る君へ」放送に向けて住民機運を高めるための事業を令和5年度に実施。継続2年目となる6年度はこれを活かした観光コンテンツを住民協働のもと提供し、地域に足を運んでもらうきっかけをつくる。 ・古代東山道を巡るウォーキングイベント ・園原地区の史跡や店舗を巡るスタンプラリー ・研究者による源氏物語講演会 ・平安時代の着物講演会、平安時代体験ワークショップ等 ①着物レンタル代、ウォーキングイベントバス代、ガイド謝礼、講演会講師謝礼、講演会講師交通費・宿泊費、ホームページ更新費用等 ②スタンプラリー設置台、スタンプ	2,387	1,860	1,860	地域の強みを活かした観光の推進

令和6年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表（1次募集）

単位：千円

番号	事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金内定額	重点テーマ区分
20	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ア 特色ある観光地づくり)	ソフト	平谷村観光協会	向日葵の生産及びこれを利用した事業	令和5年度事業で地域のシンボルである向日葵の生産とこれを利用したフォトコンテストや迷路のイベント、食用油の特産品化を進めた。継続2年目となる令和6年度は引き続きこれらの事業をすすめ、併せて平谷温泉ひまわりの湯30周年記念イベントを行い、野菜の販売や花火等のイベントにより集客アップを目指す。温泉施設の割引きを行うことで、村民にも改めて施設を利用していただくきっかけとする。 ①花火代、肥料代、ポスター・チラシ代、マルチ代、景品代、農薬代、搾油代等	1,325	1,060	1,060	地域の強みを活かした観光の推進
21	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ア 特色ある観光地づくり)	ソフト	下條村歌舞伎保存会	持続可能な下條歌舞伎観光コンテンツ化推進事業	地域の伝統芸能である下條歌舞伎を持続可能なものとするために、観光コンテンツ化をはかり、それによって認知度向上と定期公演に足を運んでもらうきっかけづくりを行う。ワークショップ形式で地域内外の方から下條歌舞伎と連動した宿泊プランやオリジナルグッズのアイデアを出していただく。また、実際に歌舞伎の動き等も学んでいただく。ワークショップで出たアイデアを基に、飯田下伊那の宿泊施設とタイアップした宿泊プラン及びオリジナルグッズの販売を開始する。 ①ワークショップ・宿泊プラン・グッズ制作に係る事業委託費	2,750	2,200	2,200	地域の強みを活かした観光の推進
22	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ア 特色ある観光地づくり)	ソフト・ハード	喬木村	棕文学ふれ愛散策路を活用した「文学×スポーツ」観光事業	当村は動物文学の代表的人物である棕鳩十生誕の地であることから、「棕文学の里」として定着を図ってきた。しかしながら、棕鳩十ふれ愛散策路の劣化が激しく、イメージを損なう恐れがある。そこで住民協働により散策路の整備を行い、観光資源としての魅力を高める。また、これを活用した健康増進イベント（ウォーキング・サイクリング）をあわせて行うことで、多様な層の人に興味を持ってもらうきっかけとする。 ①丸太椅子材料費、パンフレット印刷費 ②看板改修費、樹木伐採費、街路灯設置費	8,212	5,000	5,000	地域の強みを活かした観光の推進
23	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(イ 農業の振興と農山村づくり)	ソフト・ハード	特定非営利活動法人南信州山都共同社中	都市との連携による飯田下伊那(南信州)地域の活性化に資する事業(第3年次)	中山間地域の活性化のため、地域住民・農家・市町村・地域企業と連携し、都市部と中山間地域の相互補完事業を次のとおり実施(3年目) ・自信と誇りを持てる農業の再構築(連携企業による市場情報の整理・レクチャー、販売方法やルートについての助言をいただく、市場関係者を講師に迎えた勉強会の開催、都市部の市場視察、IoTやAIの導入も視野に入れた仕組み作りの勉強会) ・下條村宝ノ戸地区での企業ダーチャモデル事業(地域と都市部企業の継続的な交流事業)を根付かせるため、企業ダーチャ先進地への視察研修、都市部の自治会を招いて下條村でのダーチャ体験会、先進地から講師を招き、受け入れ体制や運営方法に関する勉強会の実施。 ・都市部への農産物販路拡大・認知度向上のため、都市部のイベントへ参加し、農産物の販売も含めた、南信州ダーチャ運動のPRを実施。 ①コンサル委託費・交通費・旅費・印刷費、視察研修費・交通費、講師謝礼・交通費等 ②ダーチャ体験会用物品	5,061	4,037	4,037	移住・定住、つながり人口づくりの促進
24	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(イ 農業の振興と農山村づくり)	ソフト	下伊那郡西部3か村地域振興協議会	南信州フォレストパーク構想事業(地域特産品販売促進事業)	国道19号線沿線に位置する阿智村、根羽村、平谷村の三村の住民が連携してイベントを準備・開催し、村の枠を超えた繋がりを築くためのイベントを開催(3年目) ・3村からイベント出店農家を集め、交流・イベント準備を実施 ・3村からイベント出店農家を集め、特産品販売イベント「森の収穫祭」を開催 ・地域周遊イベント「森の収穫祭特産品ラリー」(無人販売所を巡っていただく)を実施 なお、無人販売所は住民協働により、その製作にかかわっていただく。 ①イベント設営費、木育キャラバン、会場借用料、無人販売所製作費、デジタルスタンプラリー費用、広告宣伝費、講師代	1,565	1,172	1,172	地域の特色ある産業の振興
25	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(イ 農業の振興と農山村づくり)	ソフト・ハード	株式会社 阿智屋神観光局	阿智村 地域ブランディング事業	令和5年度は地域の伝統野菜を活用したリキュールの商品開発を行い、阿智村の新しい特産品を作り上げた。継続2年目となる令和6年度は地域住民により営まれてきた「座禅草まつり」の復活とサイクリングのモニターツアーを企画し、地域ブランディングをより高めていく。また、令和5年度に制作した阿智村ブランディング事業のWEBページに「阿智村伍和」「阿智村園原」それぞれの専用ページを設置し、地域の認知度向上を狙う。あわせて地域の間伐材を利用したノベルティを制作し、環境保全活動を行っていることも発信していく。 ①WEBページ制作費、ノベルティ(木製タグ)制作費、チラシ印刷費、ツアーガイド依頼費、周遊マップ印刷費 ②座禅公園修繕費、看板製作費、電動自転車購入費	4,264	3,295	3,295	地域の強みを活かした観光の推進

令和6年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表（1次募集）

単位：千円

番号	事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金内定額	重点テーマ区分
26	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ウ 森林づくりと林業の振興)	ソフト	純国産メンマサミットin飯田実行委員会	純国産メンマサミットin飯田2024	<p>全国40府県で放置竹林の整備や国産メンマづくりに取り組んでいる個人・団体・事業者等が加入する「純国産メンマプロジェクト」を中心に、先進的に竹林整備に取り組む地域で「純国産メンマサミット」が開催されており、令和6年度は飯田市での開催が決定している。この地域で取り組む竹林整備の事例や商品展開・産業振興の仕組みをモデル的に紹介するとともに、今後も地域課題解決のため、飯田市に通っていただける関係人口の創出も狙う。当日は竹利活用体験ブース、竹菜レシピ募集、純国産メンマ品評会、基調講演、パネルディスカッション、交流会等を予定。</p> <p>①講師謝礼・旅費、竹菜レシピ募集運営委託料、会場設営費、PR用品製作費、竹利活用物品制作委託費、参加者保険料、会場使用料等</p>	1,660	1,086	1,086	森林資源の利活用の推進
27	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ウ 森林づくりと林業の振興)	ソフト	燈の森平谷	竹灯籠を中心とする森林資源利活用と地域振興	<p>平谷村における森林づくりと林業の振興を目的とし、南信州、主に平谷村・阿智村・飯田市の森林資源を活用して、竹灯籠やスウェーデントーチの制作を行う。竹灯籠はワークショップ形式で、子どもから大人まで住民間で楽しみながら作り上げる。作った灯籠は「信州平谷」道の駅、ホットパーク平谷に設置して、観光地としての魅力の向上にもつなげる。令和6年度はひまわりの湯30周年記念事業も予定されていることから、村内外の多くの方に目にさせていただくことができる。</p> <p>①制作用資材、ソーラー電気資材、チラシ印刷費</p>	707	565	565	森林資源の利活用の推進
28	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ウ 森林づくりと林業の振興)	ソフト・ハード	松茸研究会	松茸の里ブランドづくり推進事業	<p>飯田・下伊那地域は県内でも一番の松茸生産量を誇り、全国シェア30～40%を占めるが、そのことについて地域内での認識が低い状況である。喬木村はイチゴの他、松茸の生産も多く見込めるが、そのことはあまり知られていない。そこで、松茸を安定的に生産できる仕組みや能動的な増産の仕組みを構築し、地域経済活性化、地域の特産品としてのブランド化に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山きのこフェスティバル（きのこ生産者と地域住民の交流イベント） ・松茸生産カンポジウム ・住民協働による松茸菌共生苗木の植樹 ・シロへ灌水設備等の設置 <p>①講師謝金・交通費、共生苗木購入費、会場使用料、チラシ印刷費、貯水タンク・ホース・ターフ購入費、灌水設備設置費等 ②灌水ポンプ一式</p>	717	565	565	地域の特色ある産業の振興
29	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(エ 商業の振興)	ソフト・ハード	飯田市下久堅地域づくりプロジェクトチーム	竜狭小梅漬け復活プロジェクト	<p>飯田市下久堅の文化である「竜狭小梅漬け文化」は梅農家の減少や加工者の高齢化、販売数の減少により危機的な状況にある。そこで、今の時代に合った高付加価値の商品開発を行い、地域に訪れてもらえるようなブランディングとPRを総合的に展開していく必要がある。具体的には、梅の収穫及び梅漬けツアーを実施し、地域と都会の若者たちが交流しながら、多くの方に食べてもらうためのアイデアを出し合う。また、関係者で商品パッケージや価格・ターゲットについて協議する。イメージキャラクターを起用し、販売イベントなどで効果的なPRを行う。これらを組み合わせることで、「竜狭小梅漬け文化」の復活を目指す。</p> <p>①梅漬けツアー運営費、販売開始イベント運営費、PR費用、キャラクターグッズ制作費用等</p>	5,822	4,519	4,519	地域の特色ある産業の振興
30	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(オ その他)	ソフト	公益財団法人南信州・飯田産業センター	南信州地域資源活用商品開発オープンイノベーションプラットフォーム構築事業	<p>地域資源を地域自ら活用し、付加価値の高い地域産品・コンテンツを創出するための取組（3年目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を積極的に開示するオープンイノベーションの考え方を広め、地域資源活用の機運を高めるシンポジウムを開催。 ・保有する地域資源や活用ツール等の強み、コンセプト作り等を一緒に考えるマーケティング支援相談窓口を設置。 ・地域資源の活用に関心がある住民・地域・事業者等ステークホルダーを引き合わせる交流展示会を開催、あわせて先取組者による講演・事例紹介を行い、オープンイノベーション構築について具体的なイメージを掴む機会とする。 ・地域資源活用オープンイノベーションを成功させるための必要なノウハウを学ぶセミナーを開催 ・デジタルプラットフォームを構築し、現実のイベントには参加が難しいステークホルダー（地域住民等）もいつでも気軽に参加できる情報交換ツールとする。 <p>①チラシ・パンフレット・ポスター印刷費、講師謝礼・旅費、郵送料、デジタルプラットフォーム構築費</p>	6,279	5,000	5,000	地域の特色ある産業の振興
31	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	ソフト	飯田市	地域課題解決を通じたつながり人口創出事業	<p>中長期的に地域で能動的に活動し、何度も地域を訪れ貢献したり、地域のファンになって応援してくれたりするつながり人口をつくるための入り口として、旅行商品ではない関係性を構築するプログラムが必要である。令和6年度はテーマごとに異なるターゲットニーズに合わせたWEBセミナーと現地での体験を組み合わせたプログラムを実施する。特に、里山資源や森林資源を活かし起業・副業に取り組む人との出会いを通じて、将来的に都市と地域を行き来する人材の育成につなげていく。</p> <p>①WEBセミナー有識者講師・プレイヤー謝礼、現地プログラムアテンド謝礼、イベント運営委託料</p>	1,958	1,566	1,566	移住・定住、つながり人口づくりの促進

令和6年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表（1次募集）

単位：千円

番号	事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金内定額	重点テーマ区分
32	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	ソフト	南信州広域連合	つながり人口創出および移住定住に向けた南信州広域連携事業	南信州の人口減少に伴う、地域の担い手不足や人材確保の課題について、移住定住促進事業やそれに連動したつながり人口創出事業に官民一体となって取り組んでいく。 ・地域のつながり人口創出事業におけるキーパーソンの調査及びヒアリング ・キーパーソン同士の横のつながりをつくり、市町村担当者とも情報を共有できる機会の創出 ・首都圏や中京圏での移住定住相談会の実施 ・南信州の魅力を伝える情報発信の強化 ①移住相談会協力者謝礼、先輩移住者・キーパーソン交通費、チラシ制作費、つながり人口創出事業運営委託料、荷物運搬費等	2,687	2,072	2,072	移住・定住、つながり人口づくりの促進
33	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	ソフト	飯田商工会議所青年部	丘の上カップリング推進事業	地域の人口減少や少子高齢化への対策の一つとして、若者の出会いの場を創出する。この取組により、出会い⇒結婚⇒子育てと進んでいくことで、地域の担い手世代の人口増加を目指す。継続3年目となる令和6年度は離婚歴のある方やお子さんがいらっしゃる方をメインターゲットとして、セカンドライフを応援するカップリング事業を実施する。前回まで同様、恋愛セミナーや水引を一緒に作るワークショップの後、街の飲食店を利用した合コンを行い、地域経済活性化へも寄与するものとする。 ①セミナー講師謝礼、ワークショップ運営費、広告費、郵送料等	584	467	467	移住・定住、つながり人口づくりの促進
34	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	ソフト・ハード	和田宿にぎやかし隊	遠山郷和田宿「ゆたかやBASE」整備事業～空き地を活用した“にぎわいの場”の創出～	人口減少や少子化により縮小している地域のにぎわいを取り戻すため、地域で課題となっている空き家・空き地を活用したイベントを実施し、地域のにぎわいの拠点としていく。また、令和5年度に団体が主体となって復活した地域行事である盆踊りをさらに多くの住民へ知ってもらい、参加してもらえるように勉強会を開催する。さらに、これまで地域とつながりがある外部の方にも盆踊りに参加いただき、つながり人口づくりを推進する。 ①手ぬぐい、うちわ、チラシ印刷費、講師謝礼 ②建物解体費用	3,733	2,822	2,822	移住・定住、つながり人口づくりの促進
35	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	ソフト	売木村	売木村フォトコンテスト事業	平成30年まで行われていた村のフォトコンテストを復活させ、村内では売木村の良さを再発見していただき、村外では売木村への関心を持っていただくきっかけとする。期間中は撮影目的で入村する人が増えることも予想され、村の活気となる。また、住民に審査に加わっていただくことで、当事者意識をもって企画に参加いただくことが可能となる。 ①チラシ・ポスター印刷費、記念品・景品費用、審査員（プロ）謝礼	913	685	685	
36	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	ソフト	天龍村	辰（龍）年記念「郵便ポストラッピングデザイン」公募事業	「辰年」の龍にちなんで、天龍村では住民が協働し、地域のにぎわいにつながる「辰（龍）年イベント」を企画している。その一部として、多くの住民が利用する郵便ポストへの村の自然やマスコットキャラクターを用いたデザインでラッピングする事業を行う。デザインは広く住民から募集するものとし、村を訪れた方にも住民がデザインしたポストを目にしてもらうことで、地域のPRを行っていく。 ①ポストラッピング委託料	891	668	668	
37	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	ソフト	天龍村	天龍村の伝統芸能継承・応援事業	村の伝統行事の担い手不足が続く状況において、地域内外の方に「芸能」に触れてもらうきっかけをつくり、お祭りや伝統芸能をより身近に感じていただく機会をつくる。それによって、将来的に担い手となっていただける方やつながり人口の獲得を目指す。 ・プロの方による舞や太鼓のワークショップ ・ワークショップ参加者とプロの共演による「おきよめ神の物語」講演会 ・霜月神楽体験ツアー ①ワークショップ・公演会開催委託料	3,604	2,483	2,483	伝統文化の継承